

氏 名	柚 木 佳
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 4383 号
学位授与の日付	平成23年3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Enhanced expression of haemoglobin scavenger receptor in accumulated macrophages of culprit lesions in acute coronary syndromes (急性冠症候群の責任病変の集積マクロファージにおける ヘモグロビンスカベンジャーレセプターの高度発現)
論文審査委員	教授 佐野 俊二 教授 保田 立二 准教授 塚原 宏一

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

近年、不安定プラークの形成におけるプラーク内出血およびマクロファージに発現するヘモグロビンスカベンジャーレセプターが注目されており、その関連性、さらに酸化ストレスとの関与について安定狭心症(SAP)、不安定狭心症(UAP)患者において検討した。SAP39例、UAP35例の責任病変の組織を用いて、プラーク内出血、酸化ストレスマーカー、ヘモグロビンスカベンジャーレセプターの発現を検索した。プラーク内出血および酸化ストレスの程度は、UAPがSAPに比べて有意に高値であった。また、マクロファージに対するヘモグロビンスカベンジャーレセプターの局在比率も、UAPが有意に高値であり、これはプラーク内出血や酸化ストレスの程度と有意な正相関を示した。

ヒト冠動脈プラークでは、プラーク内出血、ヘモグロビンスカベンジャーレセプターの高度な発現とそれに伴う酸化ストレスの増強が、プラーク不安定性に密接に関与することが示唆された。

#### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、不安定プラークの形成におけるプラーク内出血およびマクロファージに発現するヘモグロビンスカベンジャーレセプターの関連性、さらに酸化ストレスとの関与について安定狭心症と不安定狭心症患者において検討したものである。

ヒト冠動脈プラークでは、プラーク内出血、ヘモグロビンスカベンジャーレセプターの高度な発現とそれに伴う酸化ストレスの増強がプラーク不安定性に密接に関与することを示唆した貴重な論文であり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。